



クリスチャン・プルヴィエ (Christian Plouvier) フルート奏者

ベルギー、アントワープ生まれ。フルート奏者として、ヨーロッパ、アメリカ、アジアで活躍する。クリスチャン・プルヴィエの巧みな表現とユーモアに満ちたトークを交えたコンサートは聴衆との温かいコミュニケーションに満ち、あらゆる年代、あらゆる文化の壁を越えて人々を魅了する。

12歳でフルートを始め、19歳でアントワープ王立音楽院を卒業後、世界的に有名なアラン・マリオンとジャン・ピエール・ランパル各氏に師事。ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団(アントワープ)、歌劇場管弦楽団(アントワープ/ゲント)、ベルギー国立管弦楽団(ブリュッセル)などのオーケストラ奏者として演奏する傍ら、ソリストとしても活躍。ベルギー最高レベルの吹奏楽団ベラロフォンオーケストラ創設メンバーでもあり、レパートリーはモーツァルトからストラビンスキー、ベルギーの現代作曲家の作品まで幅広い。

クラシック奏者としての活動にとどまらず、ジャズアンサンブルや各地の伝統楽器(中国琵琶、アゼルバイジャンの Mugam アンサンブル、琴 etc.) とのセッションも積極的に行い、モダンとクラシック、アジアとヨーロッパの架け橋となる。

演奏活動に加え、東京、大阪、上海、北京、台北、イスタンブール、アンカラなど世界各地でマスタークラスやセミナーを開催し、後進の指導に力を入れている。自国ベルギーでは22年間に亘り、アントワープ音楽学院の教授としてフルートと室内楽の教育に携わってきた。長年にわたり、宮澤フルートの推奨者である。

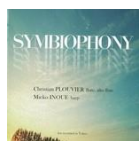
<http://www.christianplouvier.com>



井上 美江子 (Mieko Inoue) ハープ奏者

11歳より、ハープをヨセフ・モルナール氏に師事。桐朋学園高校、大学を経て、同研究科修了。アメリカ・インディアナ大学フォーマー・ディプロマ修了。1983年、マリア・コルチンスカ国際ハープコンクールにて特別賞、1992年には、福井ハープ音楽賞コンクールにて最優秀演奏賞を受賞するほか、国内コンクールやオーディションなどの入賞、合格も多い。フリーのハープ奏者として、幅広い演奏活動を行う一方、1993年と1999年の2回にわたり、文化庁在外研修員としてアメリカ・インディアナ大学に留学し、スザン・マクドナルド氏に師事。学位を取得するかたわら4回のリサイタルを始め、学内外において数多く演奏、その豊かな音楽性や高い演奏技術に対し、多くの賞賛を得る。1999年には同地で初のソロCDの録音を行い、2000年に“Mieko Inoue, THE HARP”が日米で同時発売された。

現在は、読売日響を中心に国内各地のオーケストラ、サイトウキネン・オーケストラやベルリンフィルの日本公演へのエキストラ出演など、オーケストラ奏者の第一人者のひとりとして活躍する一方、独奏、室内楽、録音などあらゆる分野で演奏活動を続ける。また、上野学園客員教授、桐朋学園講師として、若いハーピストの育成にも力を注いでいる。



クリスチャン・プルヴィエ氏と井上美江子さんによるフルートとハープの二重奏、CD『SYMBIOPHONY』が発売になりました。コンサートで演奏される曲も収録されています。当日、ロビーにて、販売いたします。



カンタービレこうじまちのこれまでの主な活動

- 2010年 9月 クリスチャン・プルヴィエ&蓮見昭夫 フルート&ギターコンサート
- 2011年 6月 バイマー・ヤンジン(チベット出身の音楽家) トーク&コンサート
- 2012年 6月 木村俊介×小野越郎 DUO コンサート(津軽三味線、東北の芸能)
- 2012年 11月 カート&ブルース 箏・尺八コンサート
- 2013年 2月 クリスチャン・プルヴィエ フルートルサイタル
- 2014年 5月 桂サンシャイン 落語独演会
- 2014年 11月 常味裕司&ファルハ アラブ音楽コンサート

その他、映画上映会などを開催し、様々な分野で活躍している芸術家を応援しつつ、その収益を、確固たる信念を持ち、社会への貢献を惜しまぬ個人および団体に寄付してまいりました。

今回のコンサートの収益金は、CWAJの奨学金及び教育プログラムに寄付させていただきます。

CWAJ(カレッジ・ウイメンズ・アソシエーション・オブ・ジャパン)は、様々な国の女性たちが幅広い交流の中で友情を深めながら、首都圏を中心に教育・文化活動をおこなっているボランティア団体で、1949年に発足しました。主な活動のひとつとして、海外留学の日本人女子大学院生、日本で学ぶ外国人女子大学院生、視覚障害男女学生に毎年奨学金を授与し、サポートを行なっています。